

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 4 月 1 日

事業所名 フォトハウス泉町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		小グループ編成	特に運動療育施設の移転拡張と2か所目の開設に向けた計画
	2	職員の配置数は適切である	○		パート職員も増員	パート職員退職時の次への確保への迅速な対応と、有資格者職員の増員の検討
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	ミニ階段の設置	現在身体障がいのある児童の利用は無いが今後に向けての継続的検討課題
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝や児童帰宅後全体ミーティング	記録整備を更に充実させ保護者と共有する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			平成29年度分を踏まえ平成30年度を実施済み残されている部分の再検討
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		これから業者に外注して掲載してゆく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		組織的にも大きくなったので検討する
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	事業所内では実施	外部研修への積極的参加と体制の確保
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○	全職員の意見反映	計画的スケジュール化し面談機会を増やす
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		常に閲覧できるシステム	個々人のスキルアップの積み重ねの上での集団の実践
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			アイデアの出し合い・見直し・試行改善
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		流行を追う・作る	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間枠に応じて	個別活動・集団活動を日々の児童の様子を判断しながらの組み合わせ
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動での成長と集団生活の関係構築を引き続き大切な着目点とする
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		体制と活動内容のバランス	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			話し合われた内容の記録の整備
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		書式の具体化	それぞれの児童の様子を具体的に記録する書式に変更した
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○	送迎時などに聞き取り	モニタリングの形式としては不十分なのが反省点で今後の改善が必須課題
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		全職員で参加	相談支援員に来所していただく機会を増やしてゆく	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			現状、医療的ケアの必要児童の利用が無い
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			過去に遡っての情報収集が必要なケースが想定された場合は連携を取りたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			まだ小学生の利用児童が中心のため今後の課題となる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			研修機会への積極的参加と助言を頂ける関係の構築が課題
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある					
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		事業所連絡会に参加		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やお電話にて		利用児童増加で、以前ほど時間を取れず新たな機会の捻出が課題
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			家族支援の視点も重要視すること	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		できる限りの時間を掛ける		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には真摯に対応している		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者参観行事	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			同じ過ちを無くすルールの明確化	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				同じような事例の際の話の場でも実名を挙げることの無いように周知徹底する
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			障がいのあるお子様を持つ保護者の方々の意向を尊重

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを保護者にも配布	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		保護者への訓練実施の報告の徹底
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所にて事例の検討	記録整備の徹底と外部研修へ積極的参加
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		特段の配慮を要する対象児童が少ない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事業所にて事例の検討	記録整備の徹底と外部研修へ積極的参加

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 4 月 1 日

事業所名 フォトハウス泉町

保護者等数(児童数)26名 回収数 20件 割合 77%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	83%	0%	17%	0%	少し窮屈に思える 運動施設の拡張希望	近い段階で運動施設 移転拡張を計画
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%	0%	0%	専門性が解りにくい	お便りにて職員の経歴 自己紹介をする
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	58%	42%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92%	8%	0%	0%		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	83%	17%	0%	0%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17%	58%	25%	0%		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	8%	0%	0%	連絡帳や送迎時に 細かく教えてくれる	引き続き大切な事項と 捉えてゆきます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	75%	25%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17%	58%	25%	0%	保護者だけで集まる 機会が欲しい	賛否両論あるが企画 して呼び掛けます
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	0%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	83%	17%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	92%	8%	0%	0%		
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	92%	8%	0%	0%		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%	0%	0%	0%		
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	25%	0%	0%		
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	83%	17%	0%	0%		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。